

第 65 回日本神経学会学術大会総括

—全体アンケートを中心に—

はじめに

第 65 回日本神経学会学術大会は、東京都東京国際フォーラムにて 2024 年 5 月 29 日(水)から 6 月 1 日(土)まで 4 日間の日程で開催された。開催内容は、企画プログラムとして、学術プログラム 62 セッション 293 演題 (うち英語 135[46%])、教育プログラム (レクチャーマラソンを含む) 39 セッション 150 演題 (英語 15[10%]) の講演が行われ、一般演題として、口演 47 セッション 268 演題 (英語 154[57%])、ポスター 154 セッション 804 演題 (英語 327[40%])、学生・研修医セッション 59 演題、メディカルスタッフセッション 85 演題の発表が行われた。第 65 回大会は、現地開催を基本としたハイブリッド形式での開催とした。その結果、大会参加登録者数は 9607 名で、参加者数は現地参加 6740 名、WEB のみ参加 2557 名、合計 9317 名であった。

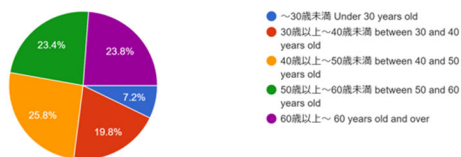
本稿では、大会終了後に実施された全体アンケートの結果を示しながら、第 65 回大会について総括する。

A. 参加者について

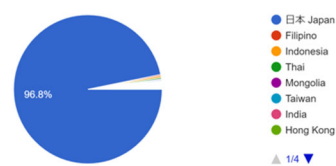
アンケートは大会終了後の 2024 年 6 月 5 日から 6 月 12 日の期間 (8 日間) で、Google システムの Web 入力式で実施し、1348 件の回答があった。アンケート回答者の年齢は 40 代以上が多く (Q-A1)、96.8%は日本人であった (Q-A2)。所属は大学病院 (40%)、一般病院 (30%) が多く、開業医 (10%) がそれに次いだ (Q-A3)。職業の内訳では医師が 74%と最多であり (Q-A4)、日本神経学会会員が多数を占め (77%) (Q-A5)、脳神経内科専門医は全体の 70%であった (Q-A6)。日本神経学会非会員、脳神経内科専門医以外が約 20%-30%ずつ占めたが、この数値は昨年 (いずれも 5%未満) より多かった。参加日は 2 日目、3 日目の現地参加人数が多い傾向は昨年と同様であった。昨年は現地参加人数と Web 視聴参加がほぼ同数であったのに対して、今年は全日程を通して現地参加人数は Web 視聴参加人数の 2 倍以上であった (Q-A7)。

今回の学会の参加形式に関しては「現地参加」および「現地参加+Web 視聴参加」の合計が全体の 79%を占めた (Q-B8) (今回新規の設問)。

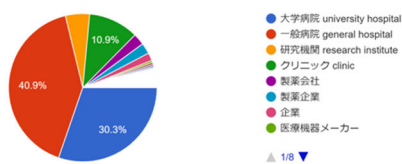
A-1. 年齢 age
1,348 件の回答



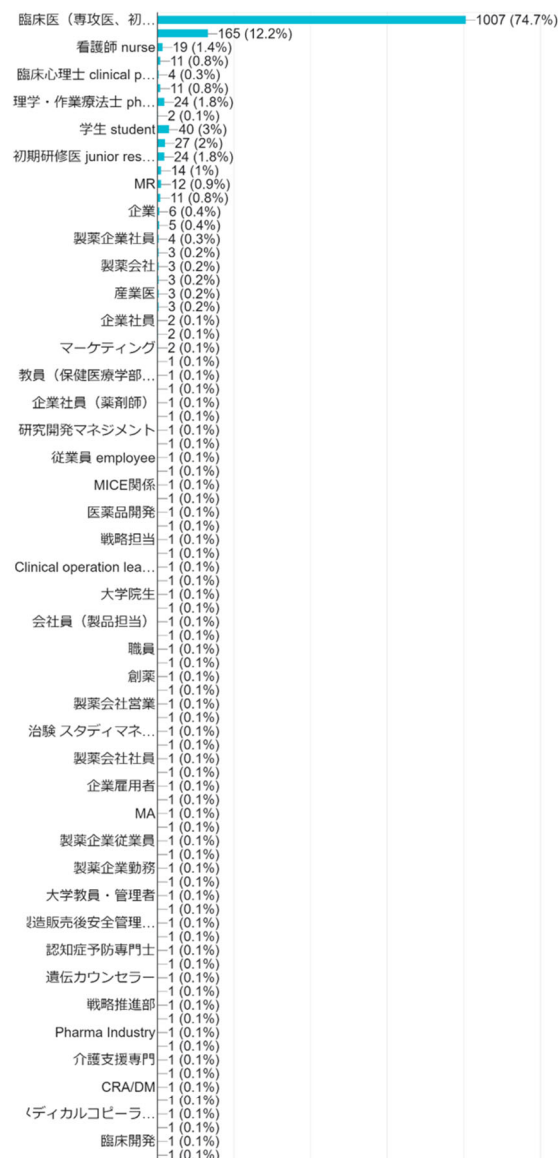
A-2. 国籍 nationality
1,348 件の回答



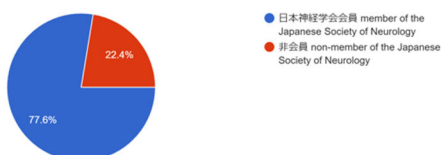
A-3. 所属 affiliation
1,348 件の回答



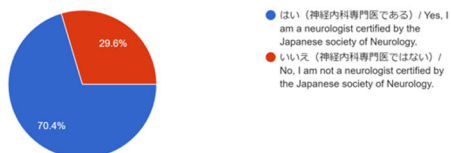
A-4. 職種 occupation
1,348 件の回答



A-5. 会員・非会員の別 membership
1,348 件の回答

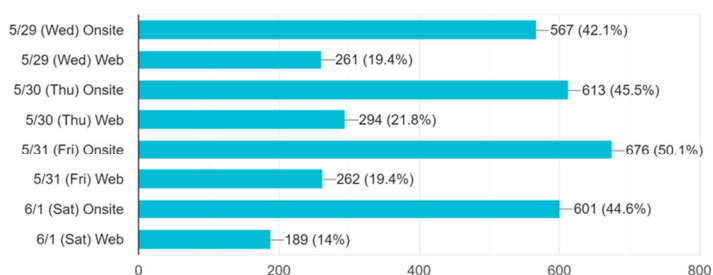


A-6. 脳神経内科専門医ですか？ / Are you a neurologist certified by the Japanese society of Neurology?
1,348 件の回答

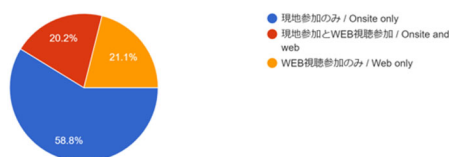


A-7. 会期中、何日目に参加されましたか？ (複数選択可) / Which day did you attend? (Please select all applicable answer)

1,348 件の回答



B-8. 今回あなたはどの形式で参加しましたか？ / In which format did you participate?
1,348 件の回答



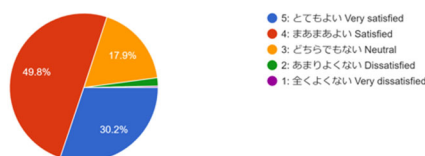
B. 全体の運営について（Web 視聴参加のみ、現地参加者、Web 視聴+現地参加者共通質問）

以下の設問に対して「とても良い」または「まあまあ良い」と回答した合計数を「良い」に計上して結果をまとめた

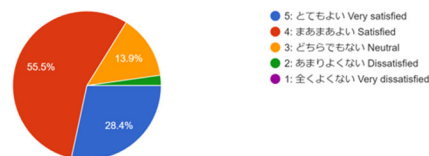
1) ポケットプログラム、抄録集の内容、学術大会ホームページ、学術大会関連ご案内メールを「良い」と答えた人数は全体の 80%以上を占めた（Q-B1-3）。

2) 電子抄録アプリを「とても良い」、「まあまあ良い」、「どちらでもよい」がほぼ同数で約 30%であった（Q-B4）。これは電子抄録アプリ自体の問題というよりは、返答者がそれぞれ使い慣れているデバイスが異なることによる評価のばらつきが反映されていると考えられた。

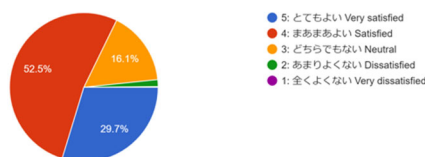
B-1. ポケットプログラム、抄録集の内容はいかがでしたか？ / How were the contents of pocket program and abstracts?
1,322 件の回答



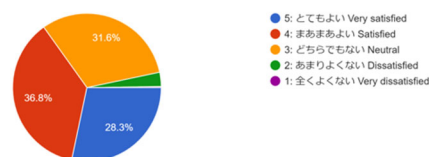
B-2. 学術大会ホームページはいかがでしたか？ / How was the official website?
1,339 件の回答



B-3. 学術大会関連のご案内のメールはいかがでしたか？ / How was information about the meeting by e-mail?
1,336 件の回答



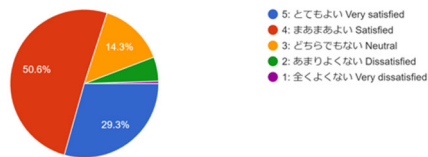
B-4. 電子抄録アプリはいかがでしたか？ / How was the App 'Confit'?
1,293 件の回答



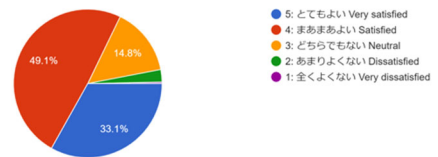
3) プログラム構成に関して「良い」と答えた人数は全体の約 80%を占め、高い評価を得た（Q-B5）。

4) シンポジウムのテーマ選びに関しては「良い」と答えた人数は全体の 82%を占め、高い評価を得た（Q-B6）。

B-5. プログラム構成はいかがでしたか？ / How was the program organization?
1,326 件の回答

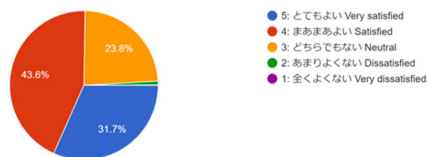


B-6. シンポジウムのテーマ選びはいかがでしたか？（臨床・基礎のバランス、新規性など） / How was the contents of the symposiums? (balance between the basic and clinical research, etc.)
1,319 件の回答



5) 一般演題からのシンポジウム採択に関しては「良い」と答えた人数は全体の 75%を占め、高い評価を得た (Q-B7)。

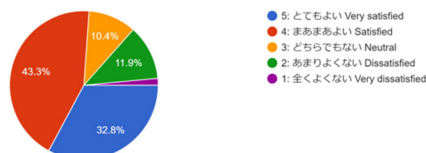
B-7. 一般演題からもシンポジウムに採択した演題があります。これは適切でしたか？ / We picked up some abstracts as symposium. How was this?
1,317 件の回答



C. 会場（現地参加のみ、Web 視聴＋現地参加共通質問）

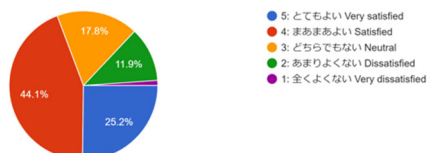
1) 会場の広さに関して「良い」と答えた人数は全体の約 70%を占め、昨年よりやや下回った（Q-C1）。

C-1. 会場の環境や広さはいかがでしたか？ / How was the location and size of the venue?
268 件の回答

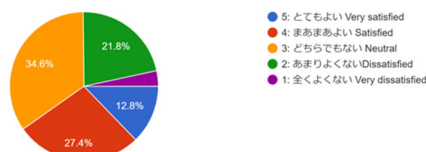


2) 会場内の案内（Q-C2）、ドリンク、休憩場所の数や環境（Q-C3）を「あまり良くない」と評価した人数がそれぞれ 12%、22%と他設問に比し比較的多い結果であり、昨年同様課題を残した。

C-2. 会場内の案内はいかがでしたか？ / How was the information on the venue?
270 件の回答



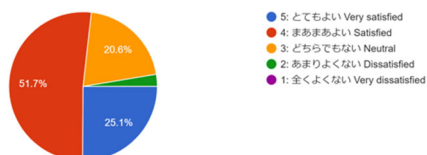
C-3. ドリンク、休憩場所などの数や環境などはいかがでしたか？ / How were the location and the number of rest areas?
266 件の回答



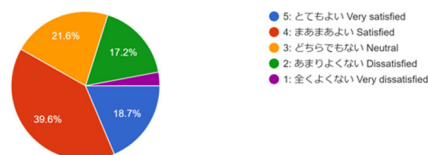
3) 発表時間、発表環境について

一般演題口演の発表時間（Q-C4）について「良い」と答えた人数は全体の 70%を超え、昨年同様肯定的な意見が大半を占めた。一方、ポスター会場の環境や広さ（Q-C5）について「良い」と答えた人数は全体の 55%と半数程度にとどまり、「あまりよくない」と答えた人数が比較的多かった（20%）点は昨年同様課題を残した。

C-4. 一般演題口演の発表時間（10分）はいかがでしたか？ / How was presentation time for oral sessions (10 min)?
267 件の回答



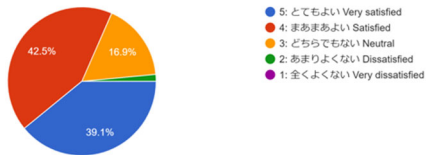
C-5. ポスター会場の環境や広さはいかがでしたか？ / How was the location and size of the poster session?
268 件の回答



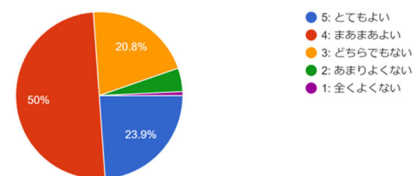
4) 学生・研修医セッションについて「良い」と答えた人数は全体の 82%を占めた (Q-C6)。

5) 一般 演題の海外演題と、国内演題を同じセッションで扱っていることについて「良い」と答えた人数は全体の 70%以上を占め (Q-C7)、いずれも有用と考えられた。

C-6. 学生・研修医セッションを設けていることをどう思われましたか？ / What did you think about having a student and junior resident sessions?
266 件の回答



C-7. 一般演題の海外演題と、国内演題を同じセッションで扱っています。これは適切ですか？
(Japanese only)
264 件の回答

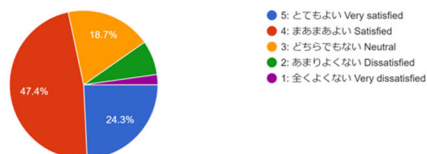


なお上記回答結果は現地参加のみ、Web 視聴+現地参加で大きな差はなかった。

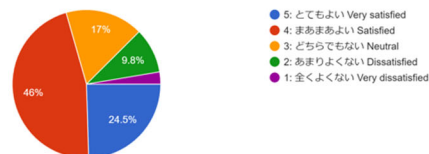
D. Web 視聴（Web 視聴参加のみ、Web 視聴+現地参加共通質問）

1) Web 視聴+現地参加者では Web 視聴参加に関する案内 (Q-D1)、web 視聴する際の操作性 (Q-D2) とともに 70%以上で「良い」と回答され高い評価を得た。一方 Web 視聴参加のみでは、web 視聴する際の操作性 (Q-D2) で「良い」と回答された数が全体の 50%程度にとどまり、18%で「あまり良くない」と回答された。

D-1. Web 視聴参加に関するご案内はいかがでしたか？ / How satisfied are you with our information regarding web conference?
268 件の回答



D-2. webで視聴する際の操作性はいかがでしたか？ / How was the usability of viewing on the web?
265 件の回答

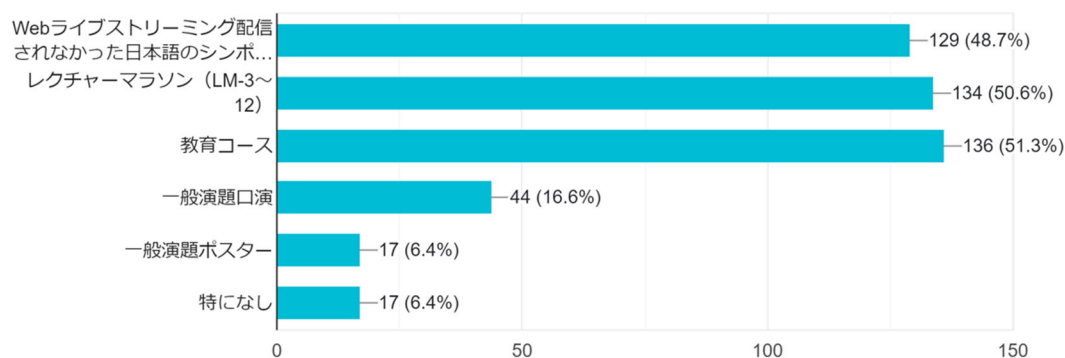


2) Web ライブストリーミング配信があればよかったと思われるセッション (Q-D3) に関する設問では全体の 50%程度の人数が「教育コース」、「レクチャーマラソン (LM-3~12)」、「Web ライブストリーミング配信されなかった日本語のシンポジウム、ホットトピックスなど」を挙げていた。

D-3.

今回、Webライブストリーミング配信対象外であったセッション... (最大2つまで選択可) (Japanese only)

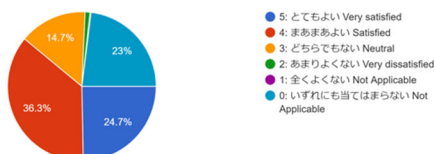
265 件の回答



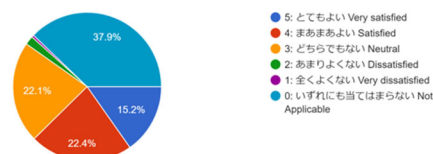
E) 各種セッション、オンデマンド配信について

1) レクチャーマラソン内容 (Q-B9)、レジデントクリニカルトーナメント (Q-B10) については「いずれにも当てはまらない (= 参加していない)」を除いて統計をとると各々79%、60%で「良い」と返答されていた (昨年と回答選択肢を一部変更)。

B-9. レクチャーマラソンの内容についてはどう思われましたか？ / What did you think of the content of the Lecture Marathon?
1,312 件の回答

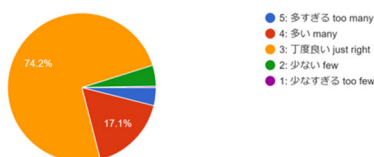


B-10. 本大会のレジデントクリニカルトーナメントについて、どう思われましたか？ (Japanese Only)
1,260 件の回答

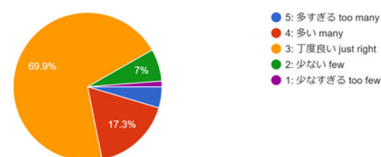


2) 全体のセッション数 (Q-B11)、英語のセッション数 (Q-B12(1)) については「丁度良い」と答えた人数が全体の約 70%であり、「多い」が全体の 17%程度を占め、いずれも昨年と同程度であった。

B-11. 全体のセッション数について、どう思われましたか？ / What did you think about the number of sessions?
1,325 件の回答

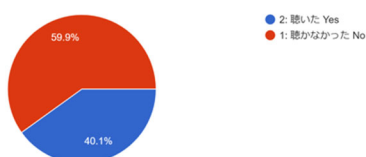


B-12(1). 英語のセッション数について、どう思われましたか？ / What did you think about the number of English sessions?
1,308 件の回答



3) 今年新規の設問として日本以外のアジア・オセアニアからの演者の発表を「聴いた」と返答した人数は 40%であった (Q-B12(2))。

B-12(2). 日本以外のアジア・オセアニアからの演者の発表 (講演・口演・ポ... and Oceania other than Japan)
1,317 件の回答



4) その他英語のセッションやアジア・オセアニア神経学会議 (Asian Oceanian Congress of Neurology ; AOCN) 2024 との合同開催に関して気づいた点 (自由記載) の質問に対しては 97 回答あった。今回の英語セッション、AOCN2024 との合同開催について「英語での発表が非常に良い機会となった」、「海外からの参加者との交流が楽しかった」、「このまま国際化を推進していったほしい」というポジティブな意見が多数存在した一方で、言葉の壁 (日本人や海外からの参加者の発表者が座長や質問の英語を理解していないなど)、一部海外からの参加者のマナーに対す指も聞かれた。

以下に「ポジティブな意見・建設的な意見」と「ネガティブな意見」に分けて次に記載する。

ポジティブな意見・建設的な意見

- Great、良かった、楽しかった。国際化は必要ですので、良いと思います。(複数回答)
 - 海外の方と写真を撮ったり、お土産をいただいたり、楽しい交流ができました。
 - 質問もでて、良かった。
 - 色々な意見が聞けた
 - 国際学会発表の良い機会となった。
- 国際化を積極的に進めるべき、継続してほしい。(複数回答)
 - 合同開催の推進。とくに国際学会と。英語セッションを国際学会で。日本語は神経学会で。
- 英語セッションをもっと増やしてほしい。(複数回答)
- 字幕、テロップが欲しい。(複数回答)
 - 日⇄英 双方の自動通訳があるとより視聴者の幅が広がり良いなと感じました。
- 同時通訳がほしい。(複数回答)
 - "口演については、AI の進歩を可及的速やかに取り入れて、テロップで(日本語→英語)または(英語→日本語)で示すようにする方向で検討をしてほしい。現在の勢いなら、2年もしないうちに可能となると思われる。
- アジアの方に来て頂いて発表して頂くことは非常に重要だと思う。そうであれば日本人による英語発表のセッションを増やす必要がある。
- 私も含めた大学などの研究機関所属者は英語に慣れていますが、臨床医には馴染みが無く、実際の臨床にどの程度必要かも疑問です(超多忙でそれどころではない)。学術大会であるので英語発表は必要で今後とも拡充されるべきと考えます。けれども、医師の間では研究者-臨床業務従事者のギャップが更に大きくなってきているのは現実で、更に英語の影響が加わると参加者の二極化(研究者, 臨床医)あるいは三極化(研究者, 臨床医, 開業医)は増々目立ってくるものと考えます。そのような多極化があたかも無いかのようなプログラムは現実的ではありませんから、どのように扱っていくか学会運営では思案のしどころだと思います。
- 英語セッションが増えると思う一方で、やはり日本語の方が理解しやすいために、そちらを聴講しがちとなってしまった。
- 中国人研究者のレベルの高さに圧倒されました
- I would like to see more presentations by overseas doctors.
- AONC のポスターは別場所にした方が良かったと思う
- 日本の演者の英語力が上がった印象がありました
- The invited speakers were very good and engaging
- I wish there were more English sessions to choose from Professional and useful English session is necessary for international meetings.

- 英語の口演、ポスターのプログラムタイトルもとりにあはずは日英両言語表記にした方がいいと思われる（そのようにしている学会も多いかと）。日本人に直読理解できる、漢字文化圏の人にとってもおそらく関心のあるものをピックアップしやすいのでは？
- 私も含めて日本人は基本的に英語が下手なので、本当は英語セッションがさらに増えるとよいですが、増えすぎると参加・発表を躊躇う人もいると思うので、バランスが重要に思いました。
- 国際的な雰囲気が出て非常によかった。
- Web 上でリアルタイムで見られるのが少なかった。後日配信をお願いしたい。
- You should invite more participants outside form Japan.
- As always perfect organization with perfect timing, perfect working technique. Thankful for the possibility to participate.
- Right mix of joint sessions
- there are less English sessions and i hope there will be more interactive and knowledgable English sessions in the future
- 国際学会のようにフリーディスカッションを行う形式にしてほしい
- Web 配信の操作性にもう少し工夫がほしかったと考えます。
- 合同開催になった分、専門医の取得単位を上乗せしてほしかったです。

ネガティブな意見

- 発表者の英語レベルが低い、質疑応答の困難さ、言葉の壁を感じる（理解が困難）（複数回答）
 - Almost all speakers have poor English skills.
 - 海外参加者（発表者）が座長の質問の意味を理解できておらず、英語能力とは別の問題点が多く散見された
- 海外からの参加者のマナーが悪い。（複数回答）
 - アジア系の外国人、特に中国人と思われる参加者は、演者が発表中も私語が多く、落ち着きなく、さらに携帯電話で話し始めて会場を出入りしていた。英語のセッション中に、海外の方が写真をとっていて残念な思いがした。マナーについて学会参加登録時に説明し、学会事務局も本人たちにその場で注意をしていただきたい。
- 日本語の発表を増やして欲しい（複数回答）
- 時々ポスター演者不在のことがあり、プレゼンテーションが必要なことが周知されていなかったのかもしれない、と思われた。（複数回答）
- 最大ボリュームにしても声が小さくてきき辛かった
- 無理に英語セッションを増やすとコメディカルとの壁を作る恐れあり。
- 会場が若干 noisy だったように思う

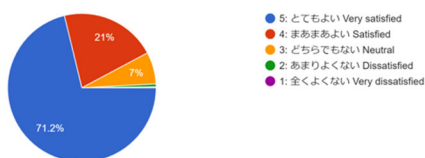
- AOCN2024 の場合はよいが、それ以外の場合は日本語でやればよい
- ポスター発表会場には海外からの先生があまりいなかったように感じます。
- 一般医からすればそれほど英語セッションを聞きたいわけではないです
- AOCN との関連がわかりにくかった
- わざわざ英語で聞こうと思える魅力的なセッションはなかった。日本語ならもう少し聴講したと思う。
- 英語セッションで海外から来ている方の方が旅行気分なのか日本からの参加者と本気度が違うように思いました。発表の核心となるパラメーターについて質問されても答えていない方もいました。
- AOCN の企画が少なすぎませんか？
- 多すぎる
- 英語のセッションでの discussion はあまり盛り上がらない。
- 日本語セッションと重複して聴けなかった
- 意外と外国人が目立たない会であった
- 演題取り下げが多すぎる
- 日本人の軽視が気になる

以上のアンケート回答からまとめた次回開催への建設的な提案は以下の通りである。

- 口演ではマイク音が小さくないか確認する
- ポスターではプレゼンテーションが必要であることを何らかの方法で再通知する
- 自動通訳、同時通訳の導入を検討する
- 多様性があるため、学会マナーの確認およびアナウンスを行うことを検討する

5)「オンデマンド配信を行うことについてどう思うか？」の問いに対して「良い」と答えた人数は全体の 90%以上を占めた (Q-B16)

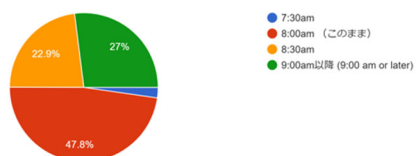
B-16.
6月14日（金）よりオンデマンド配信が開始されます。オンデマン...ghts on our on-demand services?
1,334 件の回答



F) 学術大会の開催時間、開催時期

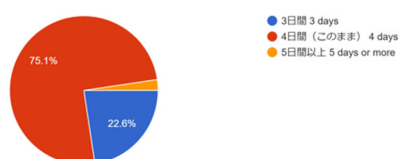
1) 学術大会の開催時刻 (Q-B13) について； 8:00 (今のまま) と返答した割合が全体の 47%と最多であり、9 時半以降、8 時半と返答した割合が 27%、22%とほぼ同数であった。

B-13. 今後の学術大会の開始時刻について、適切と思われるものをお選びください。 / What would be the most desirable congress starting time?
1,329 件の回答



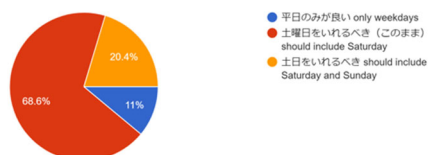
2) 開催期間 (Q-B14) について; 4 日間 (今のまま) と返答した割合が全体の 75% と最多であり、3 日間 (22%) と返答した割合がこれに続いた。

B-14. 今後の学術大会の開催期間について、適切と思われるものをお選びください。 / What would be the most desirable duration for the congress?
1,323 件の回答



3) 開催曜日 (Q-B15) については「今のまま土曜日+平日」と返答した割合が全体の 70% 程度を占め、「土日を含める」が 20% 程度であった。

B-15. 今後の学術大会の開催曜日について、適切と思われるものをお選びください。 / What are the most desirable days for the congress?
1,331 件の回答



G. 全体を通じて、本学術大会の運営において評価できる点(良かった点)

F. 今後改善できると思われる点

回答は内容ごとに①から⑪にまとめ、同様意見は一部割愛して記載した。

運営の評価できる点については特に多彩なプログラム構成とその内容、英語演題増加および国際化を評価する声、ライブ視聴とのハイブリッド開催を評価し継続希望する声が多数聞かれた。また時間配分や受付などがスムーズであったとの運営全般に対する評価、スタッフ対応が良かったとの声が多く寄せられた。

一方、改善すべき課題については、第 65 回大会で特に多かったご意見として

- ・ Wi-Fi 環境が良くなかった、案内が不十分だった
- ・ 館内移動が複雑、案内が不十分だった
- ・ ポスター会場だけでなく、一部の口演会場が狭かった
- ・ ランチョンセミナーに入れず昼食が取れないかった
- ・ common な内容のプログラムが少なかった

などのご意見が多く寄せられた。

また例年通りの指摘として上がっている改善すべき点として

- ・ 教育講演、シンポジウム、ハンズオンなどの拡充を求める声
- ・ ポスター会場の狭さ（特に企業スペースと比較して）を指摘する声
- ・ 休憩スペースの少なさを指摘する声
- ・ ライブ視聴以外での単位取得、オンデマンドでの単位取得を認めて欲しいという意見
- ・ Web/ハイブリッド/オンデマンド配信内容の拡充を求める声

が多く寄せられた。

これらは次大会以降の検討課題と考えられた。

① 学会会場(アクセス)・交通・インフラ

良かった点

- 会場が充分広く、またアクセスが良好だった （複数回答）
- 案内係がいたこと、会場内案内はわかりやすいと思いました （複数回答）
- タイムテーブルが適切；セッション間の時間が適当。

改善できる点

- ・ 館内移動が大変、館内が複雑、わかりにくい（複数回答）
 - 部屋の番号と実際の場所が混乱しやすいので元々の部屋の番号を生かした名前をつけて欲しい（複数回答）
 - 東京国際フォーラムの会場案内 ABCD 等に元々付いている”色”と、日程表の各会場（ABCD）に割り振られている”色”が相関が無かったため、向かう会場にミスリ

- ードが生じ会場を間違えたことがあり、ストレスだった。
- 移動に時間がかかるので、セッションの間隔をもう少し開けて頂きたい。
- ウェブで良いので会場内地図が欲しい
- 宿泊費が高い（複数回答）
- Wi-Fi の接続できる場所が少ない（複数回答）
 - パスワードの掲示がない？（複数回答）
 - 口演会場で Wi-Fi 環境がない
 - Wi-Fi 環境が悪く、大変苦労しました。この点は改善した方が良いでしょう。Wi-Fi が悪い環境ならば、事前にそのことも伝えるべきです。学会会社の方で会場に来ておられた方にお聞きしましたが、ご理解されていませんでした。
- 会場が狭い、縦長の部屋は聞きにくい（複数回答）
 - 会場によっては非常に狭かった。
 - 部屋規模に差がありすぎ、立ち席が多いルームが目立った
 - 縦長の会場が多く、スクリーンが小さいため、後方に着席した場合にはスライドが見えませんでした。満席の会場が多かったため立ち見をする機会も多かったのですが、スライドが見えず少しがっかりでした。もう少しスクリーンを大きくする等の改善をした方が良いでしょう。
 - ガラス棟の会議室が狭い上にスライドが良く見えないので不満でした。
- 休憩スペースや座れる場所が少ない（複数回答）
 - 会場の椅子が少なすぎる。食事やのみものをとるところがない。
 - 水の提供がない
 - 座る場所が少ない、もう少し座って休めるスペースがあると良いでしょう。
 - 会員同士の交流場所があまりなかった
- 会場が寒かった
- コンセント使用や充電可能な場所があればよいと思いました
- 混む、会場の説明がわかりにくい
 - 東京はアクセス混むので、せめて原宿や国立など他にして欲しい
 - As an overseas participant, I had a hard time at first in locating the venue of the conference. May be a better signage could be used to help foreigners to locate the conference venue easily
 - 東京駅からの無料シャトルバスを用意してほしい
 - The Tokyo subway system is quite complex, so the meeting organizers could include recommendations on the best platform and exit in the event notice.

② 会場設備(ポスター、口演)

良かった点

- レジストレーションが簡便平易
- 受付がスムーズ
- 移動など混雑もなくスムーズであった
- 時間配分がスムーズであった（複数回答）
- Very organized despite the huge number of participants
- タイムテーブルが適切；セッション間の時間が適当。

改善できる点

（ポスター）

- ポスター会場は狭い（複数回答）
- ポスター会場で演者の声が聞こえない（複数回答）
 - 海外式の、時間内は自由に質問できる形式が良いと強く思います。（複数回答）
 - more large space needed for vivid discussion
 - ポスター会場は声が非常に通りにくいので、他の学会のようにマイクを使うタイプでもよいと思いました。（複数回答）
 - ポスター発表は声が聞こえない。同時にやるからだと思います。ポスターの前に発表者が立つ時間を決めて、自由に聞いて回れるようにする方がよいと思う
 - 会場を広くする、演題を絞るといった改善を希望します。
- 企業ブースを縮小してほしい（複数回答）
 - 企業ブースが年々大きくなって、ポスター会場が狭くなっているように感じます。もっとポスター同士の間隔をあけてゆとりを持たせて欲しいです。ポスター会場が横長だったのも移動するのに不便でした。
 - 隣接の企業展示場を半分のスペースにして、30 名程度が討議できるように前後の間隔を 3～5 割増しにして下さい。
- 企業展示を奥、ポスターを手前にして欲しい（複数回答）
 - 企業ブースを通らなければポスター会場に行けないのが移動距離も長く面倒
 - ポスター会場と企業展示の間に仕切りがあったほうがよかった。
- ポスター会場に休憩場所がすくなかった
- E ポスター／デジタルポスターなどにして全部見られる方が良い（複数回答）
- 後日オンデマンドで閲覧できる様にして欲しい
- 発表当日だけでなく複数日閲覧したい
- PC やスマホの充電できる設備が欲しい
- ポスターで Pe と Pj で同じ番号があり、紛らわしかった。
- ドリンク付きだったらよかった
- ポスター発表と口演会場が遠い

(口演)

- 口演会場は狭い、スクリーンが見えない (複数回答)
 - ガラス等の講演会場は平坦で細長く、後方席からはスライドが見えない。
 - late Breaking Symposium の会場はもう少し広い方が良いと思いました
 - シンポジウムの会場がもう少し広いとよい。椅子が足りず、入れなかったものもある。
 - レジテントトーナメントの会場が通常より狭かったです。たくさん会場があるので、もっと広い会場が良かったです。
 - レクチャー馬拉ソンの部屋が狭かった (複数回答)

③ WEB・オンデマンドでの配信

良かった点

- 講演数が非常に多いまたは当日会場がいっぱいで聞けなかった講演もいくつかあった。オンデマンド配信があることは非常に良いと思います。
- 一般病院は平日にはなかなか学会参加できない。WEB 配信がいかに便利か。Hybrid 配信を今後も続けてほしい
- 医学史セッションの配信があったこと

改善できる点

(WEB (LIVE 配信))

- LIVE 配信プログラムを多くして欲しい (複数回答)
 - Web でライブ配信されたセッションが非常に少ない。現地に行くのが負担になる地域も多いため、より多くの発表を Web 視聴できるようにしてほしい。
 - 育休中かつ遠方にて現地参加ができないため、web 参加があったのはとてもありがたかったです。できれば教育コースやレクチャー馬拉ソンの配信を増やしてほしいです。
 - できる限りの演題のオンデマンド配信を希望します。(特にマラレク、シンポジウム)
- 日本語演題の配信を増やして欲しい (複数回答)
- アクセスが集中した時に回線スピードが遅かった (複数回答)
 - 接続に15分、20分かかり、セッションの始めが聴講できない。
 - 水曜日と木曜日に WEB 配信を利用したが非常に繋がりにくく、ほとんど繋がらなかった。
- 患者ビデオを出せない不都合がある
- 累積視聴時間などが出して欲しい
- 配信を講演の10分前からして欲しい。視聴できるか確認のため。

- PC 画面でも視聴用プログラムが見にくい。横へのスクロールバーをつけてほしい
- 生涯教育セミナー レクチャープログラムのウェブ定員数が少なすぎる。予定を調整している間に定員になった。(複数回答)
- AOCN のサイトへのログイン PW が別立てで入りにくかった。
- 単位取得について
 - 業務の関係上一つのセッションを始めから最後まで完全に視聴することが出来なかった。この場合「一つのセッションを視聴した」ことになるのか。単位を取得するには少なくとも一つのセッションを視聴することが必要と記載されている。
 - 学会の専門医単位がライブ視聴必須なのであれば、職場のパソコンなどでもはじかれにくいものにしてほしいです (YouTube などの動画サイトは職場で閲覧できないように弾かれます)。(複数回答)
 - 内科学会総会のライブ配信は見れたので、何か他の方法があるように思います
 - クリニックの開業をしています、休診しづらく、なかなか現地参加ができません。専門医維持のためにも、オンデマンド配信で専門医単位が取得できるセッション、レクチャーをぜひ増やしてください。

(オンデマンド)

- 配信内容を増やして欲しい
- オンデマンドをもっと早く配信してもらいたい (複数回答)
- オンデマンドでは口演・ポスターも含めて全部見られると良い
- オンデマンド視聴でも専門医単位認定対象にして欲しい (複数回答)

生涯教育セミナーもオンデマンド視聴で単位取得できるようにして頂きたい。他の学会では既にそのような体制があり、技術、金銭面でも学会負担は少なく、診療に従事している忙しい臨床医師でも夜間等の時間に勉強できることで、脳神経内科全般への教育効果が向上すると思わる。

④ アプリ

良かった点

- アプリが使いやすかった (複数回答)

改善できる点

- アプリの操作性が悪かった (複数回答)
 - 反応が遅かった
 - ログインできなかった
 - 文字が小さい
 - いいねの項目は不要
 - 容量が大きい
- 電子抄録アプリが web 配信に連携しているとよかった (複数回答)

- 会場の Wi-Fi の案内がわかりにくい
- アプリ内の会場の地図に、会場の番号やもとのホールの部屋番号など、複数の番号が記載されており、やや分かりにくいと感じました。

⑤ 抄録集

改善できる点

- アプリやオンライン抄録があれば冊子体は不要ではないか（複数回答）
- もう少し、紙冊子の文字が大きいとありがたいです（複数回答）
- 演者の目次を入れて欲しいです。（複数回答）
- 大きい版を購入しましたが、中身を探すのに時間がかかります。タイムテーブルからもう少しリンク先がわかると良いと思いました。例えば、中身が掲載されているページ数などを併記する、同会場ベースで行われるセッションを時系列に編集する、等）。各会場の広さ（収容人数など）を一覧で記載しておいてほしい。
- 抄録集は字が小さすぎます。（老人には）
- Web での販売終了が早い。申し込み登録制にして希望者には全員に届くようにして欲しい。
- ポケットプログラムと抄録集にも、どのセッションがオンデマンド対象になるか記してほしい。
- 日付・時間順にした方が見やすいかと思います。

⑥ 共催セミナー

改善できる点

- 会場が狭くて、席がなく、希望の演題を聞くことができませんでした。（複数回答）
- お弁当が足りていなかった、足りる様にして欲しい。（複数回答）
- ランチョンは事前登録制にしてもよいかと思いました。（複数回答）
- ウェブで配信して欲しい （複数回答）
- どれがライブ配信されるのかが日程表ではわからなかった（複数回答）
- あと何席空いているか分からない、わかる様にして欲しい （複数回答）
- More lunch symposia in English （複数回答）
- また神経伝導検査セミナーをお願いします
- オンデマンド配信してほしい （複数回答）
- 先着順ではなく整理券発行方式にして頂きたいです（複数回答）
- テーマ（疾患領域）が被ってしまうことがあり、いずれかのセミナーに参加できないことがあったので、同領域の演題は別日にして欲しいです
- ランチョンセミナーでは演題名と内容の解離が一部みられた。
- 会場によっては前に座る人がいるとスクリーンが見えない

- いろいろと多岐にわたっており興味深くためになりました。
- ランチョンセミナーにおける疾患（分野）の偏りを是正したほうが良い。
- 多すぎる（同じ会社が複数回開催する必要なし）
- Some should be in English as well

⑦ ホームページ

改善できる点

- Web 視聴への入り方がわかりにくい（複数回答）
- マイページへの入り方がわかりにくい（複数回答）
- スケジュールが見えにくい（複数回答）
 - プログラムとスケジュールについてすべてが結合されている PDF が欲しい、掲載しているプログラムなどの PDF を分割し過ぎて検索性が低い、全部が一緒になったバージョンも配信してほしい。
 - オンデマンドや Web 配信されるセッションが記載されているタイムスケジュール表が分かれており探しにくかった。タイムスケジュール表でまとめてわかるようにして欲しい。
- ライブ配信用ページの応答が悪い（複数回答）
- あまり複雑にしないでほしい。
- ホテルの案内が、少ない。詳細な地図が欲しかった。
- クロークの場所が分かりにくかった。利用時間などの詳細に関して、抄録ポケットブックにも記載なかったのでは？
- 大会 HP と抄録 HP の連携がややわかりにくかった
- 動作性が今一つスムーズではないと思います。
- プログラムの掲載がいつもよりも遅かったように思います。もう少し早めだとありがたいです。

⑧ 演題登録

改善できる点

- 締め切りが早い（複数回答）
- 自動文字数カウント機能がほしい。

⑨ プログラム内容・学術大会プログラム・教育企画

良かった点

- 全体構成が良かった（複数回答）
 - Very good（複数回答）
 - 神経内科の新しい流れが反映されていた

- 素晴らしい大会であったと思います。現地参加で直接議論したり、新たな出会いが生まれることの重要性を感じました。
- 一般演題からのシンポジウム採択は新たな試みで、とても良かったと思います。
- プログラム詰め込みすぎずちょうど良い分量だった。
- 基礎研究などの発表が充実していてよかった。
- 遺伝や再生医療、最先端の研究や、治情報、リハビリや嚥下障害のセッションも、あり良かった。栄養学等も良かった。
- 演題数が多いなか、構成的には良かったと思う
- 多彩なシンポジウムが開催され、現地参加の醍醐味を満喫しました
- はやり病の環境への配慮が適切に取られていて助かりました。不安な気持ちから、現地参加は懸念する方もいらっしやったとは思いますが。WEBでの参加も選択肢として加えていただけるだけで、気持ち的にも気楽に参加ができましたので、ありがとうございました。
- 今回の学会はテーマの選択が幅広く大変面白かったです。
- 遺伝や再生医療、最先端の研究や、治情報、リハビリや嚥下障害のセッションも、あり良かった。栄養学等も良かった。
- たのしかったです
- キャリア関連のプログラムが複数あったのは良かった。
- レクチャー馬拉ソンのような教育的内容と、専門的シンポジウムの並列がとても良いと思いました。
- 扱うテーマが普段の診療に役立つものが多くてよかった
- 臨床医にも勉強になるセッションが多くてよかった。適語に日本語のセッションもあってよかった
- Beautiful venue with convinient transportation, Excellent speakers!
- 参加してよい刺激を受けた
- Giving opportunities for overseeing participants to join poster and oral presentations, especially travel grants for the presentations. Please continue this part. I would like to go the JSN conference every year. My juniors would like to go to the JSN conference as well.
- Interesting topics, well-organized
- The topic are updated, speakers are professional
- On time and good support
- とても良いプログラムで勉強になりました。戸田先生の会長講演がとても面白かった
- The topics were interesting.
- 多彩なシンポジウムや教育コースがあって良かったです。

- Very well organised.
- I think the Japanese lectures are somehow better than overseas ones.
- 懇親会が良かった（複数回答）親睦をはかれ有意義だった。
- 勉強になった（複数回答）
 - オンデマンド対応があるので、学会に参加できないような遠方で日頃忙しい臨床医の知識のブラッシュアップになる。
 - シンポジウムが多彩で勉強になった。
 - 質が高く充実した内容だった3
 - 座長の先生の進行、コメントが適切でよかったです。興味深いトピックのシンポジウムが多く、勉強になりました。
 - 演題の幅が広く面白かった。
- 英語発表の機会が得られた（複数回答）
 - 海外の先生の発表も聞くことができた。
 - 国際化に向けた取り組みが良かった

改善できる点

- Common な内容が少なかった（複数回答）
 - プログラム・教育とも全体に脳卒中や頭痛などコモンな疾患については排除されているような印象を受けた
 - 変性疾患、免疫性神経疾患などの分子レベルでの研究、分子標的薬の開発などは盛んでそのシンポジウムなどが多いが、その分野の研究者向けの研究発表が殆どで、ベンチサイドから離れている市中病院医、開業医にも理解できる、現時点での啓蒙的なまとめを解説する講演などがもっと欲しかった。
 - ほぼ全員が聞くような分かりやすい plenary, presidential lectures のようなものを増やし、神経学会員全体が（分断されるのではなく）、共通に一定レベルの知識、理解を共有する方向にもって行けたらいいかと思います。
 - また、学問的次元にとどまらず、脳神経内科医にとって圧倒的に重要な診療報酬の問題についても、学会自体（担当役員）の活動は言うまでもなく、議論し、問題意識を高め、実践の場の声を吸い上げる場を学会（総会）で設けるべきではないでしょうか？
 - WCN と比較しても、てんかんや頭痛など、コモンディジーズに関するプログラムが非常に少ない点が、とても気になりました。
- 若い先生が興味を持てるような内容、基礎と臨床をつなぐような企画をしてほしい。
- テキストを入手したいので、1 日目の生涯教育セミナーと専門医育成教育セミナーを両方とも登録できるようにしてほしい
- プレナリーレクチャーや表彰式等の裏は何か他のプログラムを入れることはできない

でしょうか？

- 社員総会は1日目の午後にしていただかないと、前泊が必要になります。宿泊数に制限がある場合に、自腹での支払いになります。
- 会場が狭い時が多かった。以前は臨機応変にサテライト会場があったような（別の学会だったでしょうか）。
- 若手や市中の先生が聴講して役立つセッションが少ない。
- 生涯教育セミナーもオンデマンド視聴で単位取得できるようにして頂きたい。他の学会では既にそのような体制があり、技術、金銭面でも学会負担は少なく、診療に従事している忙しい臨床医師でも夜間等の時間に勉強できることで、脳神経内科全般への教育効果が向上すると思われる。
- 教育セミナーのテキストを前もってダウンロードのメールがわかりにくかった。
- 総会を他のメインプログラムと並行して行うのは良くないと思う。
- 似た内容のセッションが重複しており、これらをもう少し減らせば開催期間を3日にできるのではないのでしょうか。
- スライドやポスターを英語で作成するのは問題ありませんが、座長、演者、聴衆が日本人であれば日本語で発表する方がディスカッションも活発になり良いのではないのでしょうか。
- WebのLive配信があまりに少ない
- 盛りだくさんすぎる
- 特定の医師があまりに多くの座長・演者をするのは好ましくありません。
- できればメインのものは週末にあればよいのと思いました
- ボトックスのハンズオンを具体的手技を入れて増やして欲しい
- 企業の関与について、お金のサポートだけでなく、企業の社員からの発表セッションを設けるなど、もっと企業を本学会にうまく巻き込むような仕組みがあるとよい。
- 仕方ないとは思いますが、シンポジウムと口演の間が短いわりに、大会長講演の前後などは他のセッションがなく、時間配分のばらつきが大きい感じはしました。
- ややシンポジウムに偏りがあったように思います（神経免疫が多かったか）。各分野から1つずつはシンポジウムがあるとよいと思いました。
- 並列の企画が多すぎる。
- 教育講演を増やしていただきたいです。できれば各疾患の最新の知見をまとめた講演など毎年行ってほしいです。
- More English sessions
- 同系列の施設から似たような発表が多数あり、熱心に取り組まれていると感じた反面、客観的な効果判定に少し疑問を感じる部分もありました。
- 同様にAIの今後の医療におけるインパクトを主題とする plenary lecture 的な講演が欲しかった。時期尚早、来年あたりかもしれないが。

- オンデマンド定員を増やして欲しい
- 英語ポスターで withdraw していないのに貼っていない海外演者のポスターが多くあり、検討要だと思われました。
- 事前申し込み、締切が多すぎる
- 認知症に関するディスカッション、ディベート、討論企画が欲しかった。
- シンポジウム 20 神経再生のセッションでは、全く新しいコンセプトの発表があり、非常に良かったです。
- ランチョンセミナー前の空き時間を延ばしてほしい
- 双方向性の企画があると良かった。例えば普段の診療における疑問点などをエキスパートに尋ねるといったものなど
- 研修医セッションにポスターで演題を出して貰い、記念品まで出て、脳神経内科を考えている方へのアピールとしては良かったと思います。ただし、最終日は聴衆が減りますので、3日目くらいが良いのではないかと思います。
- 社員総会と重なったプログラムが勿体無い
- 一般口演を数か所同時並行開催は非常によくない。講演だのレクチャーは一晩で準備できるが、オリジナルの発表は1～数年をかけてデータを集積分析して作ってきたものである
- 午後の聴きたい時間(～15時まで)にセッションが無かったのが不思議に思いました。

⑩ 事務・運営・スタッフ対応

良かった点

- 席誘導は助かった (複数回答)
- ウェブ参加のやり方を運営の方にお尋ねして行うことができました
- PC センターの対応がよかった
- とある企画を運営しましたが、例年より PCO の方のご対応が迅速で的確だったと感じました。ありがとうございました。
- スタッフさんが一生懸命道案内をしていただき大変うれしかったです。
- 会場の立地もよく、地図や案内も分かりやすく、スタッフの対応もよかったです。
- 困っていると、ほぼ声をかけてくださったのでありがたかったです。
- Venue was great. Staff was helpful. Organisation and application was helpful.
- 問い合わせにつき、学会会場への電話が直ぐに繋がって教えて頂いたことが良かった。

改善できる点

- 受付・事前参加登録の QR コード提示が混乱した (複数回答)
 - 会員証アプリでも事前参加登録確認ができるとありがたいです
 - スマホに QR コードを出してチェックインするのは色々な場面で行っているが、

それならそのようなアナウンスに統一して欲しかった。

- 事前参加登録しても当日ネームカードを発行するのに長蛇の列で時間がかかった。次回以降改善してほしい。6
- 受付票を出す機器に係の方が2台に一人いらっしゃることでプリント紙の手渡しを待つ方が多く、初日朝の大行列につながったかなと思いました。プリンター不具合以外、無人でもよかったのかなとも思いました。
- スタッフの方は現地参加証明書は要らないですね、と言ってネームカードだけ切り離して渡そうとしていましたので、現地参加証明書も下さいと伝えるとそのスタッフは首をかしげながら渋々対応していました。こういった書類等は、現地への出張・参加を証明するために、ネームカード、出張報告に添えて職場に提出する必要があることをスタッフの方はご存知でないのでしょうか。

- スタッフ間の私語が多くて気になった（複数回答）
- 会場内にどこにどの部屋があるのかなど紙などで、もっと掲示を増やしてほしい。
- スタッフが優秀演題賞発表で採点（採点表を配ること）があることを知りませんでした。受付まで行くように言われ、無駄に往復させられました。
- せっかく発表してくれているので、コメディカルポスターの座長はもう少し優しく対応してほしい。泣いている演者もいた。
- 製薬会社の営業活動を学会会場で行わない様に学会で指導して欲しい
- 専門医育成教育セミナーなどの事前予約が必要なものの当日受付が非常に混雑していました。列に並んで、ようやく順番が来たら、用紙に記入が必要と案内され、記入して再度並ぶことになり、セミナー開始に間に合いませんでした。用紙記入の案内がもう少しわかりやすかったらありがたかったです。
- 企業ブース以外にもコーヒーやお水が飲めるスペースができればほしい。座ってPC作業できるスペースをもっと作ってほしい。
- 一部セミナーで座席不足による立ち見が目立ちました。2時間にわたる立ち見は負担が強く、荷物を置いての座席のキープも一部見受けられました。前セッションを早く抜けるなどの意識が働いたりもするため、良い影響はありません。会員数も増えており、会場の広さや座席数は改善の余地があるかと存じます。
- 5階の渡り廊下などに立っているスタッフの方は、ただ立っているだけの人から積極的に案内をしている人まで、対応に差がある印象でした。
- 夕方の受付時間がもう少しだけ長いといい
- WEB参加不具合を連絡したが、参加点数のことを答えるだけで、実際の状態説明や対策指示が全く無かった。
- 適宜メールでご案内いただいたのは良かったので今後も同様をお願いしたい
- 患者会ブースの担当に何度も何時に搬入可能か問い合わせたが返事がなかった

29日webがうまくつながらなく事務局に聞いてみようかと電話したがつながらなかった

⑪ その他

良かった点

- ランチメニューが良かった、The lunch boxes are delicious. (複数回答)
- ハンズオンがためになった
- ハイブリッド開催、WEB 参加形式があったのが良かった (複数回答)
- 患者会のブースや、展示ブース、東北メディカルバンク、企業ブースが充実していてよかった (複数回答)
- 参加者の興味とセッションの会場サイズが、例年よりもマッチしていた
- メールでのオンライン視聴の説明がわかりやすかった

改善できる点

- oral の質疑時間が余っている演題が多かった。
- シンポジウムとランチョンセミナーの時間をもう少しあけてもよいと思いました (会場広いので)。
- ポケットプログラムは開催日順で (も) 構成すべき (プログラム名が多く探しにくい)
- 基礎の発表演題は、多くが投稿論文に掲載された後で、ただの売り込みの場所になっているのが悲しい。研究を発展させる場としては全く機能していない。
- 未発表データに関して、もっといろいろな議論ができる場があると良いと思います。
- 朝の開始時間が早すぎる。せっかく聞きたい一般演題があったのに聞けなかった。9 時開始にしてほしい。東京だと通勤ラッシュの時間に移動しなければならずつらい。
- 何年かに一度でよいのでコンgresバッグを作成してほしい。
- 学術的討論をすべき会場で幕間に薬剤等の宣伝動画がながれるのは、運営上仕方ないのかもしれませんが、アカデミックな場としては違和感を感じる。
- 現在は利用していないのでわかりませんが、子育て中の先生たちのために、託児のサービスや会場は、よいものを準備してあげてほしいです。連れて出てくるだけでも大変だと思います。子どもが喜んで遊んで待っていてくれると、安心して学会に集中できます。また、他の学会では、小学生の子どものために、キッズツアー (近場の観光旅行的な) があります。将来の神経内科医を増やすために、子どものころに学会に連れて行ってもらって楽しかったなという記憶があるとよいなと思います。
- レクチャーマラソンの事前予約のものについて、定員数が少なく受付期間も短いため、希望していたところに参加出来なかった
- 最先端の話題は一年経つと古くなりますし、論文を読めば良いですが、歴史の話は語り部が生きているうちが大事なので、ぜひアーカイブに残してほしいです。
- 座長の評価をいれてはどうか？
- 朝早いか、夕方遅い時間のセッションばかりで、子連れ参加するには不可能な時間ばかり

りだったのが、非常に残念でした。

- せっかく託児所があっても、通勤ラッシュの時間帯に乳児を連れて出席はできません。夕方遅いのも出席できません。もう少し時間帯を考慮していただければありがたいです。
- イベントコンパニオンが今の時代に合っていないと感じる／企業展示は客引きのようで閉口する
- 発表の日の決定が遅くて、レクチャーなどの予約が取れない。ポスター発表の日が決まってから、レクチャーなどの予約を開始して欲しい
- 名札のストラップの色で、医師、コメディカル、製薬会社社員などが判別できる様にしたい
- 車椅子利用者にとって、バリアフリー経路の案内が不親切だった。
- 開業医の求めるものが少なすぎると思います。
- 会費の割に内容が研究よりすぎると思います。
- オンラインで発表ができれば、病棟を離れることが難しい地方の若手・中堅も発表ができるようになるので、学会が活性化すると思う
- 優秀演題の査読者が多すぎた。
- プログラム冒頭の一覧表は大変便利だが、シンポなどのタイトルだけで、内容はページをめくって探さないと分からない。(他の一部の学会でやっているように) 各セッション欄の右下にでも詳細を記してある該当ページを小さく入れておいてもらえるとそのページへすぐ行けるので大変助かる。
- オンサイトは年齢層が高い印象を受けた
- 平日に休みの取れない開業医会員のためにも、Web 視聴参加による単位認定制度が、今後も継続して行われることを切に希望します。
- 懇親会を申込みました。そこには間に合いそうでしたが、受付時間までに到着できずに参加を諦めました。参加証の発券時間を懇親会実施日のみでも考慮いただきたい
- 土曜日の Hands-on で、申込者の 7 割くらいしか実際の参加がなかった。当日のキャンセルが多いことはセミナーの運営(グループ分け等)に影響するため極力キャンセルできない(しない)ようにする方策が必要である。
- 参加費が高額過ぎる
- シンポジウムや一般口演を特定の時間に集中させずにシンポジウムや教育口演だけをかいつまんで聞きたい参加者にも配慮すべき
- 一般口演などに興味がない(現役の研究者でない医師)にとってあまりに低密度であまり有益でないのが現状
- 午前最後のセッション終了からランチョンセミナー開始までの時間が短すぎた。
- 朝食配布希望
- 一般演題口演の時間が早すぎるので、聴衆が少ない印象を受けた。

- WEB 参加証が即発行されないことで不安を感じる（複数回答）
- メディカルスタッフセッションのポスター発表で、展示コーナーにも出展している会社の演題が多かった。その会社が扱う機器の宣伝とも取れる内容であり、研究の方法論や結果の過剰解釈について疑問に思う演題が複数あり違和感を感じました。

まとめ

第 65 回日本神経学会学術集会大会は現地参加人数の割合が前年度から大幅に増加したこと、また AOCN2024 との合同開催であったことが特徴であったと考えられた。そのため昨年度との単純比較は困難なものの、プログラム構成、英語演題増加を評価する声が多数聞かれた。一方で会場スペースや Wi-Fi 環境は今後の課題と考えられた。